

愛知県立一宮工科高等学校で防災講座を行いました

令和6年10月3日（木）、愛知県立一宮工科高等学校 都市工学科の2年生に水害と地震の防災講座を行いました。9月12日から4回にわたり行ってきたこの講座も今回で最後となり、20名が受講しました。

VRによる浸水擬似体験や液状化実験など実験を中心に、過去の災害やハザードマップで災害リスクを確認するなど事前の備えを講義で学習しました。生徒は、普段土木の勉強をしていることから、堤防決壊の原因や免震構造、地震動の周期の違いなど専門的な内容にも触れました。

また、「VRや液状化実験をして、怖さを身にかけて知った」「今回学んだ知識を活かして、一分でも一秒でも早く行動したい」との感想がありました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

地震



水害

